

第70回 藤井杯・高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会 競技上の注意

1. 開会式、代表者会議は行わない。
2. 試合中の応援について、高等学校の体育館を会場とする場合は、鳴り物(太鼓・ペットボトル・メガホンなど)の使用は禁止とする。
3. 競技規則は、日本バスケットボール協会制定の「バスケットボール競技規則」による。使用球は、男子は日バ協公認の7号ボール、女子は6号ボールとする。
4. 出場チームは、必ず引率責任者(当該学校職員)に引率されるものとする。引率責任者は、選手の全責任を負う。
5. エントリー変更については、学校長の認知を受けたエントリー変更届を10部作成し、第1試合については試合開始30分前までに、第2試合以降については前試合のハーフタイムまでにコート主任(競技本部)に提出すること。それ以後のエントリー変更は認めない。また、単なるユニフォーム番号のみの変更は認めない。なお、様式は山形県協会HPからダウンロードしたものをを用いること。
6. メンバー表は、初日に限り、指定の用紙(T. Oのファウル記入用)に必要事項を記入した上、その日の第1試合については試合開始30分前までに、第2試合以降については前試合のハーフタイムに、コート主任(競技本部)に提出すること。なお、様式は山形県協会HPからダウンロードできる。
7. 競技開始時刻は、原則として指定時刻による。前試合が遅れた場合は、前試合の終了10分後に開始する。
8. 1チームでベンチに入ることができるのは、監督1、コーチ1、アシスタントコーチ1、マネージャー1、選手15の合計19名以内である。エントリー以外の者は、観覧席で応援すること。
9. スコアシートへのサインは、試合の指揮を執る者が行うこと。ベンチで指揮を執る者は、JBA公認コーチがあることが望ましく、しかもその資格はJBA公認E級以上であることが望ましい。また、大会時にはコーチ証を掲げること。ゲーム中、チーム・ベンチ・エリアで立ちつづけていることができるのは、コーチまたはAコーチいずれか1名のみである。
10. 第1ピリオドおよび第3ピリオドが始まるときの合図は3分前・1分30秒前であり、30秒前の合図はないが、速やかに試合開始・再開できるように努めること。第2ピリオドおよび第4ピリオドが始まるときの合図は30秒前であるが、速やかに試合再開できるように努めること。
11. チャージド・タイム・アウトの際は、50秒が経過したことを知らせる1回目の合図で直ちに準備をして、1分(60秒)が経過したことを知らせる2回目の合図で試合再開できるように努めること。
12. チャージド・タイム・アウトは、コーチまたはアシスタント・コーチがチーム・ベンチ・エリアから出てオフィシャルズ・テーブルのところに行き、直接スコアキーパーに対して請求すること。ただし、ヴィジュアル・コンタクトがとれる場合は、チーム・ベンチ・エリアから合図をしてチャージド・タイム・アウトを請求してもよいが、ヴィジュアル・コンタクトの対象となるのはあくまでもスコアキーパーだけであり、コーチからのヴィジュアル・コンタクトに気付くことはスコアキーパーの義務ではない。
13. チャージド・タイム・アウトやプレイのインタヴァル(ハーフ・タイムも含む)の間に交代するときは、交代要員はスコアキーパーに交代の申し出をすること。ただし、このときのスコアキーパーや審判の合図はない。
14. マネージャーは、試合終了後に、チーム用のスコアシートを審判より受け取ってからコート去ること。
15. ユニフォーム等に替える場合には、更衣室で行うこと。ベンチエリアなどアリーナ内や観覧席では行わないこと。
16. プログラムで先に記載されているチームのチーム・ベンチおよびそのチームの(自チームの)バスケットは、センター・サークルからオフィシャルズ・テーブルに向かって右側とし、前半に攻撃するバスケットは、相手チームのチーム・ベンチのあるほうのバスケットとする。また、ハーフ・タイムの練習は、3分前の合図があるまで認めるが、ハーフ・タイムやゲーム前のウォーム・アップも、前半に攻撃するバスケットのあるコートを使用する。
17. T. Oは、一日目のみ敗者チームで行うこととする。2日目以降は主管地区高校に割り当て実施するものとする。

◎救急病院 山形市立病院済生館(山形市七日町) Tel.023-625-5555
山形済生病院(山形市沖町) Tel.023-682-1111